



日本医療機能評価機構認定病院

美山だより



第20号
2012.9

社団法人 啓愛会

美山病院

〒023-0132 奥州市水沢区羽田町字水無沢495-2

TEL 0197-24-2141

FAX 0197-24-2144

ホームページ <http://www.keiaikai-miyama.jp/>

緩和ケア病棟

しちせき 第1回遺族会（七夕の会）を開催

日時 平成24年7月21日（土）午後1:30～3:00

会場 美山病院緩和ケア病棟 2階ホール



第1回目の遺族会『七夕の会』を緩和ケア病棟ホールにて開催しました。

プログラムに沿って進行され、病院長の『皆さんの微笑みが私たちの支えでした。

私たちが皆さんを支えたのではなく、私たちが皆さんから支えられてきました』と挨拶して始まりました。

当日は和やかな雰囲気の中、近況や患者様が入院なさっていた当時の思いなどをお話して頂きました。

ご遺族を代表して何人かの方から身に余る言葉を述べて頂き、次回の開催で再会できることを願いながら散会といたしました。



《ピアノ演奏者は遠山邦夫様》

定期慰問で患者様に癒しの提供をして頂いております。当日も演奏をして頂きました。

第一回 遺族会 「七夕（しちせき）の会」 式次第

1. 開会のことば
2. 及川院長あいさつ
3. 佐藤病棟師長あいさつ
4. ピアノ演奏
5. ご遺族の方々と歓談、ティータイム
6. 菊池緩和科長あいさつ
7. 閉会のことば

一目次

- 1P・・・七夕の会を開催（第1回遺族会の様子）
- 2P～3P緩和ケア市民公開講座の講演内容
- 4P・・・金ヶ崎高校のふれあい看護体験 3病棟に慰問
- 5P・・・美山・ベルク夏祭りを終えて
- 6P・・・医療療養病棟に転換になって 電子カルテの導入にあたり
- 7P・・・緩和ケア病棟ボランティア活動の報告
- 8P・・・お知らせ（緩和ケア市民公開講座の開催・食と健康まつりの開催）

《緩和ケア市民公開講座 開催》

月 日 平成 24 年 6 月 20 日(水)18:30～20:30

場 所 奥州市文化会館 乙ホール(中ホール)

講演内容 (緩和ケアの歴史や問題点・チームで支える緩和ケア
ボランティアの必要性について発表)



(緩和ケア—過去そして現在—)

院長 及川司

今回は緩和ケアの歴史、現在の問題点などについて発表します。

近代の緩和ケアは 1967 年、イギリスのシシリー・ソングラスによる「聖クリストファーズ・ホスピス」から始まっています。ホスピスは死を間近にした人が対象でしたが、WHOは 2002 年、緩和ケアは生命を脅かす様々な病気が対象であり、病気の早い段階から適応されると定義しました。日本では 1981 年、静岡の聖隷三方原病院にホスピスができたのが最初です。1990 年、国はがん患者に対する「緩和ケア病棟入院料」という診療報酬制度を作り、これを機に緩和ケアが知られるようになりました。さて、日本の緩和ケアの現状はどうでしょう。日本の緩和ケアの対象疾患はがんですが、世界ではがんのみならず、例えば慢性心不全、神経難病、認知症などに広く適応されています。また、がんだけを見ても、ほとんどが一般病院で亡くなられており、緩和ケア病棟のそれはわずか 8% 弱といったところです。普及にはまだまだ時間がかかりそうです。



(緩和ケアの取り組み)

薬剤科長 菊地祐子

医療用麻薬というと、皆さんはどんなイメージをお持ちでしょうか。

緩和医療の中では医療用麻薬は大切なお薬と位置づけられます。しかし、間違ったイメージをお持ちの方がいらっしゃるのではないのでしょうか？『中毒になるのでは』『薬が止められなくなるのではないか』『命が縮むのではないか』この様なイメージを持つために医療用麻薬を使用することに抵抗がある患者様や、ご家族がいらっしゃいます。本当は、がんの痛み医療用麻薬をつかっていても依存といった中毒症状や、命を縮めるような副作用は起こりません。私たち美山病院薬剤科は、毎日のカンファレンスに参加することで、その時の患者様の状況にあった処方に対応する調剤の工夫や、剤形の工夫をして疼痛管理のお手伝いをしております。緩和医療における薬剤師の役割は患者様への一方的な薬の説明だけでなく、麻薬を管理する立場から適正使用を推進し、薬物療法のコーディネーターとしての役割を担い、チーム医療に参加することで、患者様個々のニーズに合った医療を提供する事と考えております。



(リハビリ職としての関わり)

副主任作業療法士 鈴木 海

緩和ケア病棟でのリハビリの役割は①楽しみ・いきがいの時間の提供

②「～したい!」のお手伝い③寝たきりなどの苦痛軽減(運動やマッサージ)④暮らしやすい環境調整⑤家族とのつながりのお手伝い等にまとめられると思います。病気によってそれまでの機能や生活などが失われていく中で、何気ない生活習慣や日課を継続できることが大きな喜びや心の支えとなり、また目標や楽しみをもつことがその人本来の姿を引き出すことにつながるのを感じています。他職種と連携し、最後までご本人・ご家族が望む姿であるためのお手伝いをしていきたいと考えます。



(相談員としての関わり)

地域医療連携室 村上知大

相談員は患者様・御家族様と最初にお会いして話を伺い、情報収集を致します。普段意識している事は寄り添って話を傾聴する事、緩和ケアについて分かりやすい表現を使って説明する事、相談者の緊張感を取り除いて会話できるような雰囲気作りをする事です。

緩和ケア病棟へ相談に来院される方は、複雑な心境で来られている印象があります。

辛い思いをされている事、これから対しての不安、色々と抱えている悩みを打ち明けてもらい、少しでも落ち着いてもらえればなと思っています。

「緩和ケア病棟＝高額」のイメージをされる方もいますが、実際はそうではないので経済的な心配はせずに気軽に相談にいらして下さい。経験の浅い私ですが、苦しんでいる患者様、御家族様のお手伝いが少しでも出来るように色々な事を学びながら頑張っていきたいと思っています。



(まとめとボランティアについて)

緩和ケア科科长 菊池俊弘

薬剤科、栄養科、リハビリテーション科、医療相談室と熱のこもった講演をしていただき、緩和ケアにチームとして多くの職種がいかに深く関わっているかということを知り、熱く伝わったことを実感しました。型にはまった結論を話すよりも、手のひらの中につながったクローバーの冠でチームワークの強さを表現させていただきました。きっと聴いている皆さんにも機会があればこの輪に加わったり、手伝ってみたいという気持ちを持った方もいらっしゃるでしょう。ここでボランティアの紹介を行い、緩和ケア病棟の空気や人の関わり、四季の流れを感じていただきました。気がつけば予定をかなりオーバーし21時を過ぎる勢いで、好評のうちに終了することができました。講演された方々は、日頃の忙しい業務の中で貴重な時間や我が身を削って準備されたことと思います。本当にご苦労様でした。

—公開講座を聴講して感動—

6月20日の公開講座を聴講して感じたこと プロパー様より

今回の公演会に参加してみて緩和ケアについての考え方が変わった。

病気の早い段階から解決に向けて援助する医療が緩和ケアだという院長の言葉にとっても感銘を受けた。医師、薬剤師、看護師、栄養士、作業療法士等の方々チームとなって患者ひとりひとりに合わせて医療を行っていくことで、患者様が病気の存在を少しでも忘れられるような環境づくりをしているのがとても印象的でした。もし、私や家族で先がないという状況になったとき病氣と闘うだけでなく、病氣と共に歩いてゆく緩和ケアという選択肢も考えてみたいと思った。



緩和ケア病棟の屋上より

公開講座を聞いて病院受診 75歳の方より

6月20日の公開講座を聞いて、感動をしました。

奥州市内にこんな病棟があることを知らなかった。と外来受診に意を決して来て頂いたとのこと。感動の理由は、いろんな職種の方が関わって一生懸命に患者さんのことを考えていることが分かったとのことでした。病棟の屋上を見学して、更に感動して頂きました。

かねこ

金 校 生 徒 の ふ れ あ い 看 護 体 験

総看護師長 平野 美恵

「ふれあい看護体験」は、保健医療福祉施設が地域の方々に見学や患者さんとの触れ合いを通し、看護の仕事を知っていただくイベントです。これは、平成2年「看護の日」「看護週間」が制定され、記念事業の一環として全国的に行われています。当院でも、毎年この事業推進に協力させていただいており、今年は金ヶ崎高校3年生3名の体験希望があり、5月9日に実施いたしました。緩和ケア病棟見学、検温、血圧測定、手浴、足浴、食事介助、シーツ交換など、患者様との触れ合いを通し看護師の仕事と当院を知っていただきました。

また、先輩看護師からの話を聞き、将来への進路につなげることが出来たようです。

!(^)!学生さんの感想から抜粋!(^)!

- ・私が無気なく出来ている行動も患者さんはすることが出来なかつたりするので、その人の気持ちになって助けられる人になりたい。
- ・手浴（しゅよく）って言うことを初めて知りました。
お風呂に入れない患者さんにとっては、手でも足でもいいからどこか1か所でも洗ってもらえればとても気持ちがいいのだろうなと思いました。
- ・看護師の仕事は患者さんの身の回りの世話や住みやすい環境づくりなど、基本的なことが大切なんだと知りました。



!(^)!担当した看護師の感想!(^)!

- ・食事介助をしていただいたが、じっくり時間をかけ、明るく笑顔で声かけをしながら介助していたのが印象的だった。
- ・指導は初めてでしたが、きちんと知識を持って未来の後輩に教えてあげれば良かった。初めは、患者さんにおっかな、びっくりのようでしたが、慣れるにつれ笑顔が見られた。
以上のように患者様、職員双方に良い刺激となりました。今後も受け入れは継続していきたいと思っております。

3 病棟へ慰問の方が来院

H24年6月24日（日）13:40～14:30に「懐かしのメロディをお届けします」の演目でボランティアの沢村 怜子さん（ピアノ、キーボード、ギター）、鈴木 正一さん（ヴォーカル、ハーモニカ）、小原 智之さん（ヴォーカル）に来て頂きました。童謡や歌謡曲を演奏や歌唱して頂き、みなさん懐かしみながら楽しんでいました。ボランティアで老人保健施設、福祉施設等の慰問を行っているそうです。



お問い合わせ先

080-3322-8064（沢村）

美山・ベルク夏祭りを終えて

3病棟 主任 菊池美知子

7月28日晴天の下、美山・ベルク夏祭りが開催されました。

美山職員は、模擬店担当ということで、厳しい暑さの中各々奮闘していただいて、時間内に完売することができました。今回くじ引きの他にスーパーボールすくい、輪投げなども加わり子供達が喜ぶことも沢山あり、退屈させずに盛り上げられたことも良かったのではと思います。

また何といっても毎年楽しみなのが余興で今年はお(わ)組が演舞を披露するという事で、観客も多数で大盛況であり、患者様、入所様の方々も出演者との握手ができ、笑顔満開でした。反省点は多々ありますが、大盛況のうちに終了できたことは、皆様の協力おかげと感謝致します。



わ組の皆様が目の前に来てくれました。ありがたいこっちゃ。





医療療養病棟に転換になって

病棟師長 菊池弘子

国の方針により当法人の決定で今年の7月より介護療養型医療施設から医療療養病棟に転換となりました。急性期治療の後も引き続き医療療養が必要な患者様が入院できる病床です。

患者様やご家族様の皆様に事前に文書や掲示物にてお知らせ致しましたが、大きな混乱もなく、問い合わせがあったご家族様には相談員や病棟で対応させて頂きました。むしろ心配していたのは病棟スタッフであり、「介護がなくなったら私達の仕事は何をすればよいの?」と介護スタッフから不安な意見もありました。しかし(介護療養病棟から医療療養病棟)に変わっても看護や介護が替わるわけではなく今まで通り、むしろ今まで以上に多方面にわたり患者様に援助していく重要性を周知させました。

介護病棟時代から行ってきたレクレーションやお誕生日カードでのお祝い、各行事の開催等患者様に楽しんでいただけるよう継続しています。嚥下体操や離床も積極的に取り組んでおり、リハビリとの連携のもと身体機能の維持を図っています。接遇面においても毎月の標語を基に職員一丸となって取り組んでおります。今後も安心して療養して頂けるように病院の理念・基本方針に沿うとともに、ご家族の方とも信頼関係を築き、看護に取り組んでまいります。



電子カルテの導入にあたり

事務長代理 鈴木雅彦

当院では、平成24年10月1日より「電子カルテ」システムを導入いたします。

導入により紙カルテや伝票等が不要になり、受付から会計までの処理が早くなります。また、診察面では患者さまの診療情報等を速やかに確認することができ、スムーズな診察が可能になります。

ただし、導入当初はシステム・トラブルや職員の操作の不慣れ、受付方法の変更などで、診察時間や待ち時間が長くなることも予想されます。

なお、病棟においてベッド・サイドでの業務を円滑に行うため、入院患者様には情報を記録したリスト・バンドの装着をお願いすることとなります。

医療サービスの向上のため今後とも努めてまいりますので、皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

※電子カルテのシステムトラブルを防ぐために、万全の体制を整えておりますが、操作の問題・システム上の問題が発生した場合には、病院職員以外の者(電子カルテ開発従事者)が診察室内に立ち入る可能性がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。




患者様の情報を記録したリスト・バンド

緩和ケア病棟ボランティア 活動報告

※ 週1回の方や月1回の方等自分の生活リズムで、協力頂ける範囲の中で、ボランティアをお願いしております。今後も沢山の方に協力を頂きながら運営していきます。また、興味のある方が御座いましたら、お申し込みください。お待ちしております。

《平成24年7月》

2日(月) 庭のお花持参し活ける 佐藤久美子様	9日(月) 庭のお花持参し活ける 佐藤久美子様	10日(火) お花の水替えと周りの掃除 佐々木貞様
11日(水) ティータイムの準備と後片付け 高橋清子様	21日(土) 遺族会(七夕会)お茶のお世話 高橋清子様 佐々木貞様	23日(月) お花の手入れ 佐藤久美子様
24日(火) お花の水替えと周りの掃除 佐々木貞様	25日(水) 庭のお花持参し活ける お花の水替えと周りの掃除 千葉静子様 佐藤トヨ様 佐藤早苗様 佐藤千恵子様	26日(木) ティータイムの準備と後片付け 高橋清子様
31日(火) お花の水替えと周りの掃除 佐々木貞様		
ボランティアの様子		

《平成24年8月》

1日(水) お茶サービス 佐藤久美子様	5日(日) お茶サービス 小笠原カノエ様 及川朋子様	7日(火) お花の水替えと周りの掃除 佐々木貞様
9日(木) お花の水替え 七夕飾りの後片付け 貼り絵 ティータイムの準備と後片付け 高橋清子様 岩渕史香様	10日(金) お花の水替え 装飾作成 岩渕史香様	15日(水) お花の水替え ティータイムの準備と後片付け 佐藤久美子様
21日(火) お花の水替えと周りの掃除 佐々木貞様	23日(木) ティータイムの準備と後片付け 高橋清子様	24日(金) お花の水替えと周りの掃除 佐藤裕子様 菊地久美子様 菅原恵子様
27日(月) ティータイムの準備と後片付け お花の水替え お茶サービス 佐藤久美子様	29日(水) 庭のお花持参し活ける お花の水替えと周りの掃除 千葉静子様 佐藤トヨ様 佐藤早苗様 佐藤千恵子様	

今後の行事等のお知らせ

○ 食と健康まつり 開催

月日 11月10日(土)

時間 午前10時から午後2時

場所 美山病院 理学療法室



内容は、健康コーナー・健康体操・デイケアコーナー・相談コーナー
販売・試食コーナー・喫茶コーナー等を検討しております。

詳細についてまだ不明の部分もありますが、
今年も楽しい企画を考えておりますので
是非皆さんお誘い合わせていらしてください。

○ 緩和ケア市民公開講座 開催

月日 11月21日(水)

時間 午後6時30分～8時30分

場所 奥州市文化会館(2ホール)大ホール

内容は、前半は及川院長と菊池緩和ケア科長の講演を予定しております
後半を特別講演として、学校法人後藤学園付属リンパ浮腫研究所の
佐藤佳代子所長さんによる「リンパ浮腫の治療とケアについて」と題して講
演を行っていただきます。

乳がん・婦人科がん・前立腺がんなど、主にがんの治療後に腕や脚のむくみ
がでる疾患(リンパ浮腫)について解りやすくお伝えします。

がん実用誌の「がんサポート」 鎌田實先生との対談より抜粋

緩和ケア病棟は、「身体的な苦痛」「精神的な苦痛」「社会的な苦痛」「スペリ
チュアル・ペイン」という4つの痛みを緩和することを目的としている
佐藤所長さんは、リンパドレナージ(マッサージ)の治療に当たる際の技術
の重要性の割合は、全体のうちのほんの一部で、本当に大事なことは、それ
以外の痛みに気づき、向き合うこと。患者さんの言葉や声の質、目の力、皮
膚の緊張状態などを深く読み取ることも必要である。と鎌田實先生との対談
でお話をされております。

講演を聞いて、是非やってみたい!と興味を持たれた方には
リンパドレナージのセラピストを目指して頂けたらと思っております。

目指して頂ける方は (医師、看護師、理学療法士、作業療法士、
あん摩マッサージ指圧師) です。